

# 新政会だより

Vol.3

平成19年1月15日  
発行

明けまして

おめでとよう

ございます

本年もよろしくお願いいたします



## 新政会

### 基本理念

友愛・公平・公正・効率を旨とする

### スタンス

保守・中道路線

米田市政を是々非々で支える

## ご挨拶

市民の皆様には、日頃よりわが新政会の活動にご理解を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

新糸魚川市誕生後、1年と10ヶ月近くが経過しました。私たち新政会は、政策集団を自負し、「基本理念」「スタンス」を基本に、糸魚川市の将来を真剣に考え、研鑽を重ねながらの党派活動・議会活動を活発に行っています。

新年度の予算編成を前に、数回にわたる党派会議、勉強会、視察研修を行い「平成19年度予算編成に対する要望書」を取りまとめ、市長に対し12月21日に10項目の重点施策を提示しております。

## 「平成19年度 予算編成に対する要望書」

### ◆基本姿勢

合併3年目を迎え、懸案事項が山積しています。行財政改革を積極的に推進し、「選択と集中」を基本に管理職のリーダーシップと一般職員の能力を活かした庁内体制を早期に確立し、左記施策に重点を置いた力強い市政運営を要望いたします。

### ◆重点施策（以下項目のみ）

- ①産業振興・「人口減対策」「働く場確保」「市財政力の向上」
- ②子育て支援強化、高齢者福祉や地域医療体制の充実による市民不安の解消
- ③豊かな心と確かなる学力養成のための学校教育の推進

- ④下水道・ゴミ対策等、環境に優しい地域づくり
- ⑤交通ネットワークの充実
- ⑥都市機能向上のため、都市計画の推進
- ⑦観光施策の展開による交流人口の拡大
- ⑧中山間地を中心とした農林水産業振興
- ⑨情報通信基盤整備推進への住民理解と協力を前提とした推進
- ⑩地域自治活動組織の充実と財政支援強化による分権型社会の構築

以上

党派が予算編成に要望を出すのは、旧糸魚川市時代からも記憶にないことだそうです。今後も、予算編成、政策全般に要望事項が活かされるよう、働きかけていきます。



市長へ要望書提出 平成18年12月21日 市役所応接室にて

## ●「市総合保険福祉センター事業」に ついで

岡山県玉野市

### 1. すこやかセンター機能強化について

#### ○センターの整備趣旨

- ① 市民が安心して生活できる支援の場
- ② 心とからだの健康づくり
- ③ 多世代にわたる交流・ふれあいを通じた生きがいづくりの場
- ④ ボランティア活動のネットワーク拠点
- ⑤ 介護保険の時代に応じた福祉・健康・医療の相談・情報拠点

### ○施設の概要（廃小学校跡地を活用）

- ・約11.5億円を投資し平成13年8月に竣工
- ・建物面積1142㎡、構造1鉄筋2階

#### ◇感想

- ① 廃校の跡地活用として、福祉、健康、医療に関する多様なサービスを総合的に提供しているセンターとして機能していることを実感した。
- ② 市民と行政が一体となり関係機関や団体などのネットワークを築きながら、地域保険福祉活動をはじめとする積極的な活動を展開している事を実感した。

### 2. 健康づくり「健康たまご」計画について

#### ◇感想

- ① 当市も19年度から取り組みを開始するが、本運動の趣旨、計画内容の市民への周知徹底（分かりやすく）をきめ細かく行う必要がある。
- ② 取り組み後の定期的なフォロー、広報（紙面、場所）活動が必要である。



車いす用調理台  
上部鏡で前方から調理台が見える

玉野市にて

## ●「ケーブルテレビジョン」について

香川県さぬき市

### 1. ケーブルネットワークの取組

#### (1) 事業の目的

- ① すべての市民が情報通信技術の享受出来る基盤を形成
- ② 合併以前より地区においてはCATV網の基盤整備が進んでおり、情報化の先進性をさらに強化する事により、先進地域としての魅力づくりを図る
- ③ 市民生活を豊かにするための各種情報の提供と、利用しやすい環境を整え市民生活の向上を目指す

#### (2) 総事業費 35億2千万円

- (内訳) 補助金 17億1千万円
- 起 債 16億8千万円
- 一般財源 1億3千万円

### 2. 防災情報システム 音声告知関係

- ① 目的 ↓ 行政情報や防災放送を流す
- ② 総事業費 9億1千万円
- (内訳) 起 債 5億8千万円
- 一般財源 3億3千万円

#### ◇感想

さぬき市においては、加入率の問題が発生しており、経営的に苦しい状況が続いている。糸魚川市でも、市民へのサービス内容、世帯負担、情報技術動向等、住民説明に努め、理解と協力を前提に進めていく必要がある。

ケーブルTV担当者厳しい見通しを語る



さぬき市にて

## ●「駅周辺整備」について 香川県坂出市

### 1. 主な経過について

- ① 昭和63年 瀬戸大橋の開通
- ② 昭和63年 坂出駅連続立体化事業認可
- ③ 平成8年 駅周辺整備11事業開始（150億円）
- ④ 平成9年 鉄道高架と新駅舎完成（205億円）
- ⑤ 平成17年 駅周辺整備主要プロジェクト完成

### 2. 主な事業概要について

- ① 坂出駅舎改築と高架化 延長3.2km  
財源内訳(国68億、県67億、市54億、JR16億)
- ② 南口土地区画整理事業  
面積3.6ha、事業費47億
- ③ 北口駅前広場整備事業 15億9千万円  
面積7,000㎡、バスバース3カ所、タクシースーパー22台、植栽は移動式
- ④ 北口地下駐車場整備事業  
台数126台、事業費17億7千万円
- ⑤ 高架下駐輪場整備事業 2箇所  
1,700台、事業費1億3千万円

#### ◇感想

- ① 坂出駅立体化後の事業として、駅周辺整備事業に「選択と集中」し、議会と市民の理解を求めた市長の決断は参考にした。
- ② このプロジェクトを進める為、平成3年より職員210名を削減して取り組んだ努力は評価したい。
- ③ 昨今の厳しい財政状況を考えると、早期に取り組んだ市長の決断は参考にしたい。

フォークリフトで動かせるよう  
工夫された鉢植え、広場を多目的活用



坂出市にて

## 編集後記

大雪だった昨冬から一変して暖冬の様相となっています。少雪となれば、冬季レジャー産業や農業を初めとして、様々な産業への影響が心配されます。

新生糸魚川市の将来を考えても、少子高齢化問題を初めとして様々な問題が山積しています。各事業の先進地では、今までの常識にとらわれず、どこかで行政の常識を打ち破って、新しい事業展開に踏み出しています。

縦割りの行政の弊害を排除し、糸魚川市の庁舎内が真に一体とならなければ、新しい糸魚川市の姿は見えてこないでしょう。

「選択と集中」を基本に、市長、管理職のリーダーシップをより一層高め、職員のリベラティブを図って能力を活かした庁内体制を早期に確立して欲しいものです。

来年度は新市3年目の年となります。米田市長にとって、総合計画策定後初の予算編成です。米田市長の政策を活かした予算編成、執行を期待しています。



坂出市にて

### 新政会 (写真の並び)

- 会長 畑野久一
- 幹事長 斉藤伸一
- 副会長 野本信行
- 広報委員長 伊藤文博
- 会計・広報委員 平野久樹